

症例 3

20代 男性

2014/5/28 矯正前



OP-A検査



叢生部磨き残し+!
歯肉腫脹



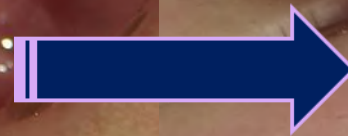
※まつおかから移転された為
EPPの記録なし



追加4 2020/10/15

OP-検査





叢生部分のプラークの減少、特にUR23間の歯肉腫脹の改善が認められる

PROBING DEPTH

2020/12/14

4 mm以上のポケットなし

